

1977・9 NO.127 Vol.11 NO.9

●昭和52年7月20日印刷

●昭和52年9月1日発行

●編集・発行者 竹島紀元

●編集スタッフ

塚本雅啓／松尾定行／宮原正和
日比 彰／沖 勝則

●アートディレクト 岡田徹也

●発行所

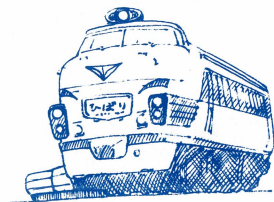
(株)鉄道ジャーナル社

〒102 東京都千代田区飯田橋4-8-6

日産ビル 電話03(264)1891・1892

振替口座 東京9-82820

●印刷所 凸版印刷株式会社



石油ショックと‘高度成長’見直し
ムードで沈滞気味の日本列島に
東北新幹線建設のツチ音は高らかに
鳴り響いている。産業経済の不況
や一部住民の反対運動の影響で
工事は大幅に遅れ、ハッキリした
開業のメドも立たない情勢だが、
開発の遅れた広大な‘みちのく’に
たくましい息吹きが鼓動している
のは確かである。

表東北の動脈である東北本線の歴史
は古く、明治24年(1891)東海道
本線に遅れること2年余で上野―
青森間の開通をみた。沿線の人口
が稀薄で、産業にも恵まれなかつた
ため発展が遅れたが、現在では
在来線随一の重要幹線として名実
ともに‘北の動脈’の機能を果たし
ている。だが、列車本数や優等列車
の運転は新幹線開業前の東海道
・山陽本線の規模を上回っており
抜本的な改善強化が急務なことは
明らかである。

この東北本線が新しい新幹線にバ
トンを渡す日が一日も早く訪れる
ように、国家的プロジェクトとし
て、政府・国鉄・国民の総意と協
力のもとに今後いっそう強力に推
進されることを祈りたい。

1977-9 もくじ

- 7 レールウェイ・レビュー 運輸相表明の波紋
- 8 ニュース・ファイル(国鉄・私鉄・海外鉄道の動き)

特集●東北本線と新幹線

- 15 (第1部) 華麗なる北の動脈
- 22 (第2部) 杜のみやこ-仙台24時間 菅沼清美
- 31 (第3部) 東北の鉄道 95年のあゆみ 編集部
- 34 (第4部) 東北本線 その現状と展望 編集部
- 47 (第5部) これからの東北本線 須田 寛
- 50 (第6部) ひかりは北へ――！ 種村直樹
- 59 東北新幹線のルートと建設状況 編集部

ドキュメント★列車追跡⑧

- 63 みちのくの明日への懸橋 やまびこ 檀上完爾／永崎祐之

特別企画 ‘伊豆急’の魅力

- 73 東伊豆のレジャーライン
- 77 〔第1部〕伊豆急行 15年のあゆみ
- 84 〔第2部〕伊豆急行のスターたち
- 91 〔第3部〕伊豆急電車の乗り心地

伊豆急行KK／編集部

- 93 装本芸術と汽車③ 佐々木桔梗
- 101 会津への慕情 江坂光守／芦原 伸
- 105 トップ・アングル
- 109 レールファン・ノートから②5 ときには区間列車 本島三良
- 122 ヨーロッパの鉄道と列車の旅(39)イギリスの鉄道 山之内秀一郎
- 128 ディーゼル機関車とわたし③ 高田隆雄
- 134 韓国鉄道の旅 ③ 渥見昇光

ブルー・トレイン

◆ワイドレンズ(110)◆新刊紹介(111)◆魚眼/ズームレンズ(112)◆マスコミと
鉄道(113)◆タブレット(114)◆読者論壇(115)◆Q & A/鉄道友の会だより(117)
◆車両基地/伝言板(118)◆R Jクイズ/鉄道記事ざっくばらん(119)◆次号のお
知らせ/こちらジャーナル編集部/乗務員室(120)

定価530円 円60円

表紙写真／新幹線高架橋を走るくひばり> (東北本線・小山付近で)

’77-6 カメラ・竹島紀元